

社協まるもり

ibain

いばいん

2026
No.116

7

いばいんとは…

方言で「一緒に行きましょう」という
意味があります。地域やボランティア
活動に一步踏み出すきっかけになる
ような情報を発信していきます。



特集

みんなの力が、大きな笑顔に
～地域の食堂を支える人々～



▲社協HP



▲Instagram



▲Facebook



写真：更生保護女性会の皆さん

金山やまちゃん食堂を支える方々に語っていただきました



更生保護女性会
齋藤米子さん

子ども食堂をいつか立ち上げたいと思っていました

金山やまちゃん食堂は、更生保護女性会の齋藤米子さんが中心となり、金山自治会と社会福祉協議会の支援のもと立ち上げた地域の子ども食堂です。

齋藤米子さんは当時の立ち上げのきっかけをこう語ります。「台風災害が起こる3年前から組織として子育て支援をしようと、子ども食堂について勉強していたところ、台風で大きな被害を受けてしまいました。そこで金山地区の子どもたちを元気にしようと思い、金山やまちゃん食堂を立ち上げました。子どもの元気な姿を見ると私自身も元気になります。」と生き生きとした表情で話してくれました。

子どもたちの笑顔に繋がっていると実感しています

金山やまちゃん食堂は、皆さまの力があって成り立っています。関わっている団体は、まなびの森、宮城大学、JAみやぎ仙南、更生保護女性会、保護司、民生委員児童委員など様々な立場の方々です。

「様々な方々が関わっているからこそ、子どもたちの笑顔に繋がっています。これからも子どもたちの笑顔のため、金山やまちゃん食堂を末永く続けていきたいです。」と金山自治会の佐藤隆一会長。関係団体との繋がりの効果を実感していました。



金山自治会
佐藤隆一会長

金山やまちゃん食堂は感謝の気持ちで溢れています



金山やまちゃん食堂に関わっている方々へ感謝の気持ちを込めて、子どもたちからお花をプレゼント。

金山やまちゃん食堂について

実施日：奇数月の最終火曜日
場所：金山まちづくりセンター
対象者：金山地区在住の小中学生と保護者
(スクールバス金山コース利用者も含む)

いろんな立場の人がいるから楽しくなる！

宮城大学学生ボランティア×金山やまちゃん食堂

立ち上げ当時から宮城大学の学生がボランティアとして金山やまちゃん食堂に関わっています。「看護学生の視点を活かし、子どもの変化に早めに気づけるよう関わってほしい、とボランティアの依頼がありました。将来小児看護を目指す学生にとって良い学びの場になっています。」と宮城大学看護学群の霜山准教授。

学生ボランティアは子どもたちの行動を見守りつつ、優しく話しかけます。「子どもたちの輪に入っていくのは難しいと感じていましたが、回数を重ねるごとにその意識もなくなり、ボランティア活動が楽しくなってきました。今では、他のボランティア活動にも積極的に参加しています。」と最初こそは戸惑いがあった学生ボランティアの菊池葵さん。今では金山やまちゃん食堂をきっかけに活動の幅を広げているようです。



かわもと農園×JAみやぎ仙南×金山やまちゃん食堂

「イチゴ大きくて美味しい！」「豚汁おかわり！」金山やまちゃん食堂から子どもたちの賑やかな歓声が聞こえてきます。

舘矢間地区のかわもと農園様からいただいたイチゴをはじめ、地元の農家様からいただいた大根、人参などは、JAみやぎ仙南様を通じて提供していただいています。

お腹いっぱい食べた子どもたちの満足そうな顔を見るたび、地域の繋がりのあたたかさを実感します。

「イチゴには子どもを笑顔にするパワーがあります。子どもたちは私たちにとって大切な存在です。間接的ですが、このような形で子どもに関われることが大変うれしく思います。私が作ったイチゴを食べて子どもたちの幸せに繋がると良いですね。」と笑顔で語るかわもと農園の川本勝さん。大切に育てたイチゴは子どもと生産者の双方を笑顔にする食べ物でした。



まなびの森×金山やまちゃん食堂

「1年生から順番に手を洗って、食事を持ってきてください！」「いただきますを言うってくれる人、手を挙げてください！」と金山まちづくりセンターに大きな声が響きます。いつも理解しやすい声掛けで金山やまちゃん食堂の運営をサポートしているのが、仙南地区で学習塾を運営しているまなびの森の菅原菜々さんです。

「今年度も子どもたちと一緒に、地域のばあばたちが作ってくださったおいしいご飯を食べられるのがとても楽しみです。いつも子どもたちの笑顔と元気にパワーをもらってます。今年度もやまちゃん食堂に関われることがうれしいです！」と菅原さん。金山やまちゃん食堂の頼もしいサポート役は今年度も美味しいご飯を食べてパワー全開です。



△学生ボランティアと一緒に
(左が菅原さん)

仙台大学体育学部子ども運動教育学科の宮田洋之先生をお迎えして、親子運動遊びの講演会を聞きました。実際に体育館で、親子でたくさん体を動かして楽しく遊びました。

シーソー楽しいね！

えーい！
飛ばしてみよう！

丸太倒し！
力いっぱい押してみる！

輪っかの
飛行機を
作ったよ！

お好み焼き！
くるとひっくり返るはずが…
絶対ひっくり返らない!!

親子で一緒に体を動かすことで…

- ①体が育ちます。
- ②心の絆が深まります。
- ③自信と挑戦心が育ちます。



今年度、大内保育所では伊具高校生との交流を数回計画しています。主に野菜の苗植えを一緒に行きます。第1回目は高校の農場に行き、何の野菜の苗があるのか話を聞きながら、お買い物体験をしました。後日、伊具高校生が来所し、一緒に苗植えを行いました。「上手だよ」「土をかけてぎゅっと押してね。」など優しく声をかけていただきました。

優しく持ってね♡

ぎゅーっとしてね！



こども園・保育所の様子や情報をお届けします♪

笑顔 いっぱい まるもりっこ

ウサギ、ふわふわでかわいいね♡

見て見て！
大きいね！

お弁当おいしかったよ！

園外保育の翌日には動物の絵を描く活動をしました！

八木山動物公園に行ってきたよ

4・5歳児合同の園外保育で、バスに乗って八木山動物公園に行ってきました。当日は雨となってしまいましたが、キリンやゾウがエサを食べている様子を見たり、ウサギやモルモットの可愛さに、目をキラキラさせたりと大喜びだった子どもたち。絵本や図鑑で見たことがある動物たちの実物の大きさに驚いた様子で、目を丸くして友だちと見学を楽しんできました。



～給食おやつレシピ～

(丸森ひまわりこども園)

yummy 😊



☆たぬきおにぎり

<材料> (1個50gのおにぎり2個分)

- ・ごはん 80g
- ・ねぎ(1/3本) 10g
- ・揚げ玉 適量
- ・あおさのり 適量
- ・醤油 2g
- ・みりん 少々



☆おかかチーズおにぎり

<材料> (1個50gのおにぎり2個分)

- ・ごはん 80g
- ・おかか 適量
- ・めんつゆ 3g
- ・チーズ 適量



<作り方>

炊いたご飯と具材をボールに入れて混ぜ合わせて握ったら完成です。
お家でもぜひ、作ってみてください♪

社協は地域とともに福祉のまちづくりを目指しています

社会福祉協議会って?

社会福祉協議会（以下社協）は、社会福祉法に定められた民間の福祉団体です。丸森社協では「であい・ふれあい・ささえあい」をスローガンとしてだれもが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを進めています。

地域住民のニーズを把握し、地域課題を解決するためにも幅広く、多分野の関係機関と連携、協働しています。



住民参加による地域福祉活動



▲町内のサロン支援



▲子どもの遊び場事業



▲生活の困りごとに関する相談支援

ボランティアセンターの運営



▲ボランティア養成・派遣(コーヒーの淹れ方)



▲世代間交流事業(もりもりクラブ)



▲防災食、用品の備蓄、展示

相談支援事業

災害への備え

社協は民間の非営利組織です。社協の活動は町民の皆様からいただく会費に支えられています。7月に社協会費の納入をお願いしています。ご協力をお願いします。

会費の種類

一般会費(世帯単位)	一世帯当たり	800円
賛助会費(個人・団体)	—□	3,000円
特別会費(事業所・団体)	—□	10,000円

会費の集金については、福祉協力員(行政運営推進委員、民生委員児童委員)の皆様にご協力いただいております。社協窓口でも、年間を通して受け付けています。

令和7年度事業報告・決算

第1期丸森町地域福祉活動計画で掲げた3つの基本目標に即して、令和7年度は次の事業に重点的に取り組みました。

基本目標1

多様なつながりや支え合いの取組があることで、安心して暮らすことができる

育児環境の充実を目的としてベビーベッド無料レンタル事業を開始するとともに、子どもの室内遊び場事業として、Viva!!遊び場!!を開設しました。



▲Viva!!遊び場!!

Check!



▲ベビーベッドレンタル
詳細はこちら

基本目標2

活動に参加することで、助け合いながら健康な生活を送ることができる

ふれあいサロンや子ども食堂など、地域の様々な活動についての情報収集・情報発信をするとともに、地域に新たな活動が増えるよう、活動の立ち上げに向けた相談、コーディネートを行いました。



▲趣味から始めるボランティア講座(バルーンアート)



▲障害を理解するための講演会の開催(手話講演会)

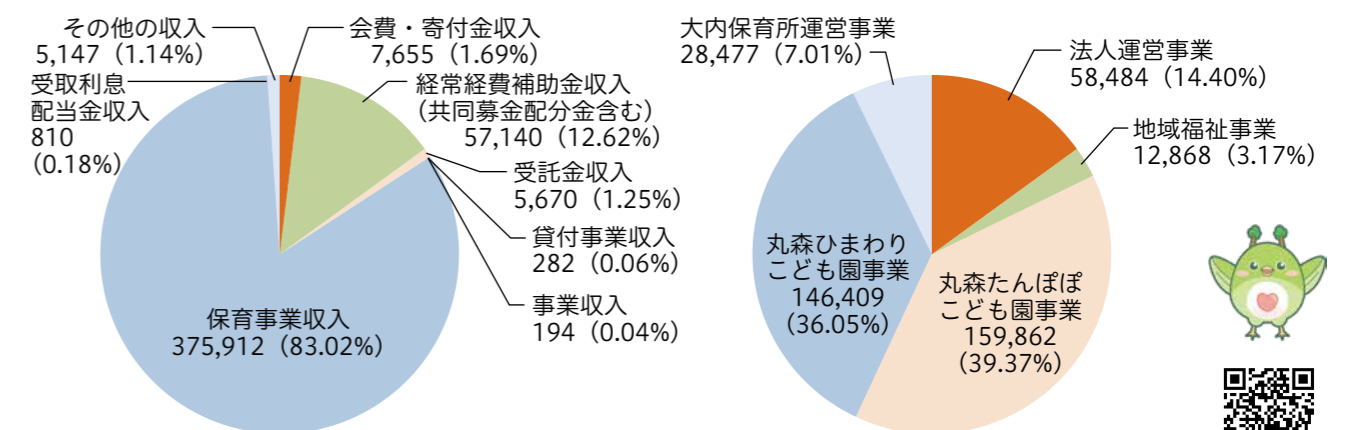
基本目標3

お互いが支え合うことで、誰もが自分らしく暮らすことができる

様々な福祉課題を抱えた人が解決に向けた取り組みや支援につながりやすくなるよう、相談支援体制の強化と関係機関との連携協働に取り組みました。

令和7年度決算(事業活動による収支)

(単位:千円)



※上記以外の、施設整備等による収支、その他の活動による収支などを含む当期末支払資金残高は8,542万8千円で、翌年度繰越金となります。



商品券が当たる! るぐたんクイズ



Q 特集ページで川本さんが手に持っているイチゴの数は?

- ① 3個 ② 9個 ③ 15個

ハガキまたは右のホームページ内回答フォームより、
①答え、②氏名、③住所、④年齢、⑤電話番号、⑥広報紙の感想を記入のうえ、お申込みください。

抽選で5名様にあぶくま商品券1,000円分を差し上げます。
発表は発送をもってかえさせていただきます。

応募先 回答フォーム▶

〒981-2152 丸森町宇屋55-1
丸森町社会福祉協議会



締切：7月20日(月) (当日消印有効)



困りごと…悩みごとは生活相談所へどうぞ!

話し相手がなくて困っている、悩んでいるけどどこに相談したらよいか分からないなど、多様な課題を抱えた方々を支援する無料の相談窓口です。ご本人と一緒に課題を整理し、解決に向けて支援します。

対面での相談

相談日		
7月8日(水)	7月21日(火)	8月4日(火)
8月18日(火)	9月1日(火)	9月15日(火)

時間 午前10時～正午 場所 丸森町社会福祉協議会事務所

電話での相談

受付時間
平日の8時30分～
17時15分
TEL：72-2241

LINEでの相談

受付時間
平日の
8時30分～
17時15分



車イス貸出

高齢の方や障がいをお持ちの方、突然のケガなどで福祉用具が必要になった方に貸し出ししております。介護保険制度外のサービスなので要介護認定は不要です。遠出するのに少しでも車いすを使いたい、ケガをして急に車いすが必要になったなど、ぜひご相談ください。

福祉用具 (最初の2か月は無料) 車いす：300円/1か月

お問い合わせ 丸森町社会福祉協議会 ☎72-2241



あたたかい善意ありがとうございました

令和8年3月1日～令和8年5月31日

「丸森町の福祉に役立ててください。」と次の方から寄付をいただいておりますので、紹介します。(敬称略)

金銭寄付

- 地域福祉
 - 3/24 舘矢間小学校第5学年
 - 3/24 丸森五月会
 - 4/24 佐藤印刷株式会社
 - 5/13 佐藤 利男
 - 自動販売機募金
 - 船山建設株式会社 2,220円
 - 有限会社小野商店 6,070円

物品寄付

- こども園・保育所
 - 3/5 穴戸 進 交通安全お守り
 - 4/8 交通安全母の会大内支部 ハンカチ (大内保育所へ寄付)
 - 5/9 岡崎 保子 とうもろこし苗 (ひまわりこども園へ寄付)
 - 5/29 西花 盛和 ベビーサークル (たんぼぼこども園へ寄付)



社協HP /



Instagram /



Facebook /



この広報紙は町民の皆様からお寄せいただいた赤い羽根共同募金を財源に発行しています。



ユニバーサルデザイン (UD) の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。